



明るい農村便り

—発行—
霧島町蒸留所
鹿児島県霧島市
霧島田口564-1
TEL0995-57-0865
2024年3月号

新たな道を切り開く!



「みちしずく」という新しいさつまいもの品種の仕込みに挑戦しました。焼酎用原料品種の絶対王者として君臨してきた「コガネセンガン（黄金千貫）」に代わり、新たな道を切り開き、夢と希望に満ちあふれる品種になってほしいという願いと、焼酎をイメージする「しずく」を組み合わせたネーミングです。春の頒布会（6月分）で新発売します。ご期待ください。



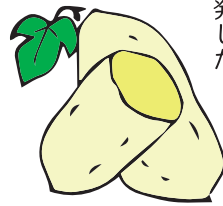
みちしずく

4年前の2019年から基腐病の影響で、仕込み用の芋の確保が大変になりました。そのため新品种の、「みちしずく」に挑戦しました。この芋は、基腐病に弱い黄金千貫の代替品として、農研機構が開発した

ものです。

実際に仕込んでみると、芋の蒸し加減や、モロミの状況、香りなど、黄金千貫と遜色ありませんでした。出来あがった焼酎は、現在、貯蔵しています。まだガスが残つており、粗さがあるため、正確な比較が出来ていませんが、蒸留直後の味は、よく似ています。

あと3か月経ってガスの抜けた、ちょうどいい味わいになった「みちしずく」を皆様にお届けするのが楽しみです。（山下）



復興のシンボル

3年前、富山県氷見市で開催された、中学ハンドボール大会を観戦するため、富山県へ行きました。

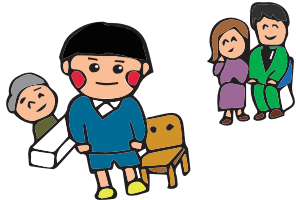
私は、出場する子供の試合も楽しみでしたが、富山に行つてプリを食べる事をすごく楽しみにして、それはとても美味しく、つられてお酒も沢山頂きました。



大会自体もとても素晴らしく、観る者にも緊張が走る大きな大会です。しかし、今年には能登半島地震の影響で氷見市開催は断念され、代替地・福島県での開催になりました。来年は、再び氷見市での開催を指すと言われています。それが「復興のシンボル」となるよう願っています。（坂ノ上）

ひとりの入学式

春、私の子ども小学校にも、ピカピカの一年生が入ってきました。私の父が通っていた当時は、たくさんの子供も



達の声で溢れかえっていたようですが、過疎化と少子化の影響で、今は世帯数3世帯、全校生徒6名となつてしまいました。今年の入学式で入ってくる一年生は、一名のみ。すぐ緊張するだろうなと思いつつ、自分だけ注目される入学式も、なかなか味わえない貴重な体験だなと思います。学校生活が、子ども達にとって豊かで実り多き日々でありますようにと願っています。（藤倉）

一本桜

桜と言えば、子供の頃

は学校や近所の公園に通勤する今、その道すがら様々な場所

で楽しむことができます。名所と呼ばれる公園、もちろん、お寺や神社のそばの花吹雪、廃線になった国鉄の線路沿いに植えられ、ライトアップされた桜並木など、次から次へと出てきます。

けせん団子

「けせん団子」は郷土菓子の一つとして、提供されて

たそうです。暑さで、団子がすぐ傷んでしまうため、殺菌効果のある、けせんの葉をつけたのが、けせん団子の始まりといわれています。



チャレンジの年

我が家で大量にとれた金柑（きんかん）を明るい農村の四季「冬」につけて、金柑酒をつくったのですが、先日、そろそろ3か月経って、いい塩梅（あはじ）かなあ、と味見をしてみました。

口に含んだ瞬間、芳醇な芋焼酎の味わいの中に、金柑のほろ苦さを感じ、鼻から抜けるほんのり甘く爽やかな香りが堪らなく…。ちよつとだけ味見のつもりが、晩酌タイムに変わっていました。

2月には、「明るい農村」を練りこんだ生チョコを作り吞兵衛の父にプレゼントし、今は梅酒をつくらせてみようかと計画中です。



短信

ホワイトデーの思い出話。僕には無縁のイベントごとですが、そんな僕も一度だけ、チョコレートをもらったことがあります。

人生で初めてもらった本命のチョコレートに、内心、非常に浮かれていました。受け取りつつも平静を保つことに必死になり、お礼の言葉も述べず持ち帰り、親にばれぬようチョコソト食べていました。もらったのは、いいものの、初めての出来事、かつ、親にも伝えられず、アドバイスをもらいう事も出来ずにホワイトデーの日がやってきました。なにも準備せず迎えたその日にお返しできたのは、不愛想な僕の顔と気まずい空間だけでした。（川元）

家の庭先にもけせんの木が植えてありますが、葉の匂いを嗅ぐと祖母がよく作ってくれていた事を思い出します。（石牟礼）